



I 第22週の発生動向 (2022/5/30~6/5)

1. 警報・注意報は発令されていません。

II 第22週五類定点把握対象疾患

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原 保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週 からの 増減 数
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科															0
	インフルエンザ														
	RSウイルス感染症														1
	咽頭結膜熱														4
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎														5
	感染性胃腸炎														214
	水痘														0
	手足口病														1
	伝染性紅斑														1
	突発性発しん														17
	ヘルパンギーナ														1
	流行性耳下腺炎														1
眼科	急性出血性結膜炎														0
	流行性角結膜炎														6
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)														0
	クラミジア肺炎														0
	細菌性髄膜炎														0
	マイコプラズマ肺炎														-3
	無菌性髄膜炎														0

は警報、は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓



サル痘 (四類感染症)

サル痘は、オルソポックスウイルス属のサル痘ウイルス (図) の感染による急性発疹性疾患です。

ヒトに感染すると、5~21日(通常6~13日)の潜伏期間を経て、感染初期には、発熱、悪寒、背中への痛み、筋肉痛、リンパ節の腫れ、発熱後1~3日で顔や四肢に特徴的な発疹が現れ、口の中や性器、目にも発疹が現れることがあります。臨床的には天然痘と同様の症状であり、区別することは困難です。

これまで日本では、ヒトのサル痘の発生事例は報告されていませんが、今般、欧州や北米を中心に、複数の国において、渡航歴のない感染者が発生しています。

予防には、天然痘のワクチンである痘そうワクチンが有効ですが、日本では1976年以降、痘そうワクチンの接種は行われていません。サル痘の流行地では、リスなどの感受性のある動物や感染者との接触を避けることが大切です。欧州や北米、アフリカから帰国後、前述の症状が現れた場合には、最寄りの保健所にご相談ください。

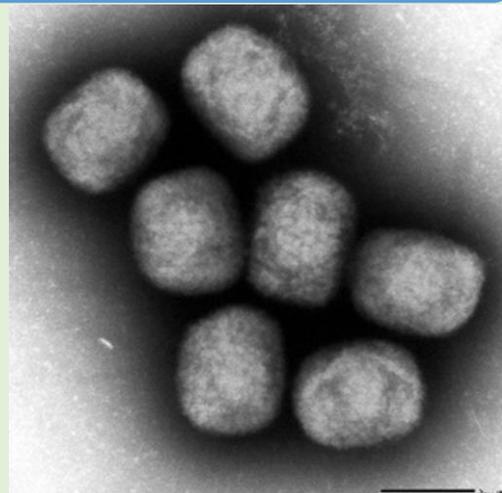


図: サル痘ウイルスの電子顕微鏡写真
出典: 国立感染症研究所 HP

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [サル痘について \(厚生労働省\)](#)



☞ [サル痘とは \(国立感染症研究所\)](#)



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類感染症）：五所川原1人、むつ1人 (2022年計：65人)
- ・つつが虫病（四類感染症）：三戸地方1人 (2022年計：5人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）：青森市2人 (2022年計：11人)
- ・侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）：弘前1人 (2022年計：3人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

急性肝炎患者（咽頭ぬぐい液及び直腸ぬぐい液、5/23）・・・新型コロナウイルス：青森市1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2022年第19週～第22週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
19		腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人			つつが虫病1人
20	つつが虫病1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	つつが虫病1人 梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症2人 百日咳1人			
21	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人	つつが虫病1人				
22	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症2人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人	つつが虫病1人			

Ⅵ 結核(二類感染症) (2022年第19週～第22週) (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
19	1					1
20	1		1			
21	2				2	
22				1		1

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2022年第1週～第21週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱
累積報告数	5687	11	531	7	1	181	29	9	4	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	重症熱性血小板減少症候群	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症
累積報告数	40	75	12	66	1	1	5	2	1	560

分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	1	194	78	579	9	105	3	72	305	344

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	13	75	4	507	127	4201	57	25	63	225

分類	五類	五類	五類
疾病名	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	2	1	2

青森県（2022年第1週～第22週までの累計）

分類	二類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒
累積報告数	65	5	1	5	11	1	4	3	1	8

分類	五類
疾病名	百日咳
累積報告数	1

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2022年第22週、ただし全国は前週）

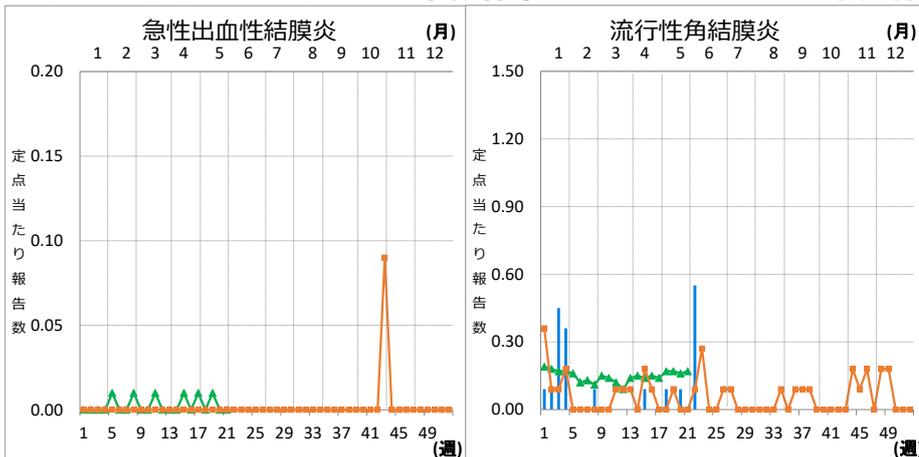
グラフの説明 ←は2022年青森県、■は2021年青森県、▲は2022年全国





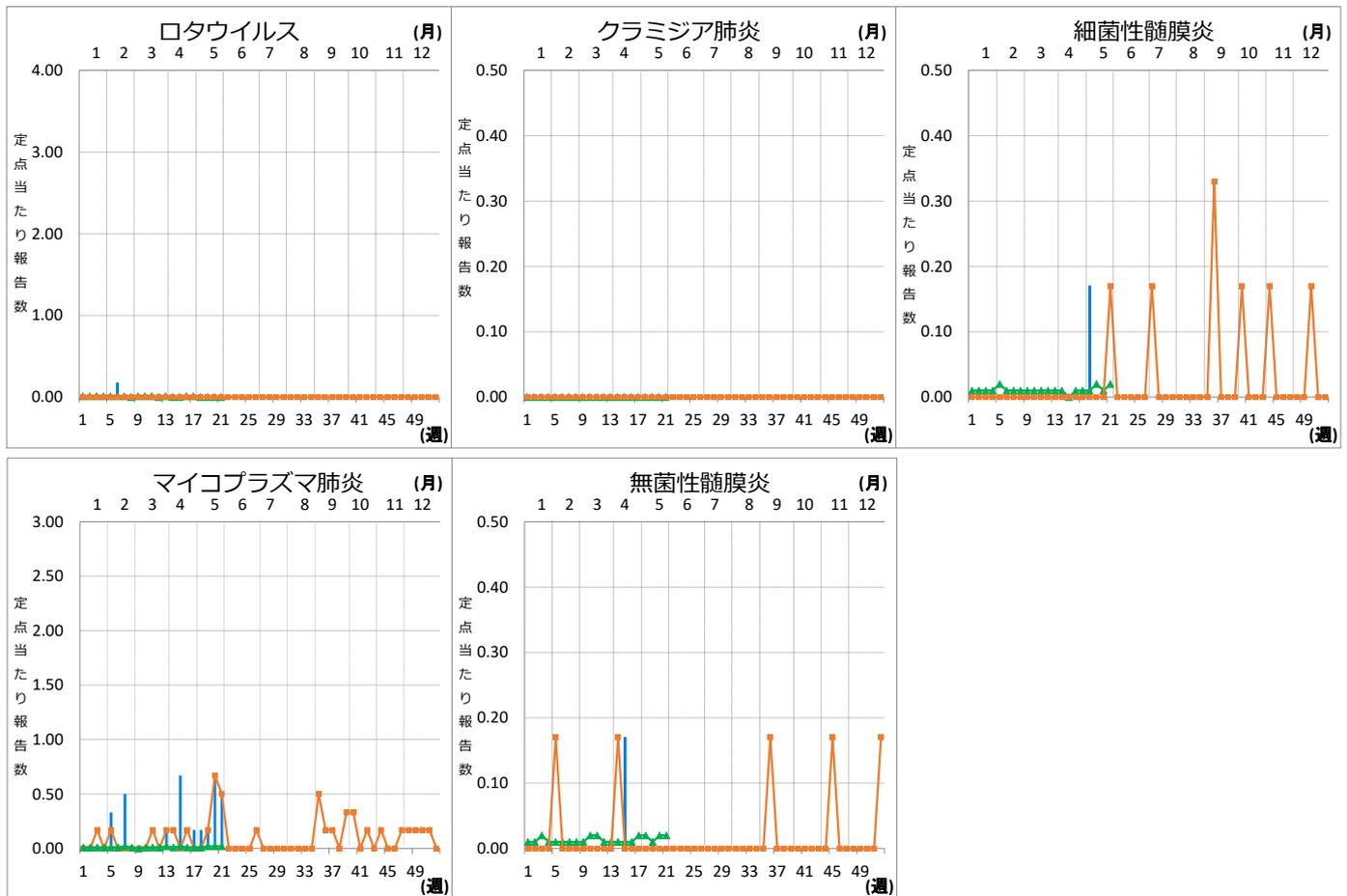
Ⅹ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2022年第22週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —は2022年青森県、■—■は2021年青森県、▲—▲は2022年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2022年第22週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2022年青森県、 は2021年青森県、 は2022年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2022年第22週

報告週 (第1報)	施設種別	発症者数	管轄保健所
第22週	児童・婦人関係施設等	25	弘前保健所

2022年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14週-17週	18週-21週	22週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
児童・婦人関係施設等	件数	6	2	2	0	1	1	12
	発症者数	157	29	37	0	16	25	264
障害関係施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	6	2	2	0	1	1	12
	発症者数	157	29	37	0	16	25	264